

各自が自分の問題として取り組む以外に、
ごみ問題の解決法はありません



椎木町
クリーン推進委員

ほりかわ やすひろ
堀川 泰洋さん
(71歳)

クリーン推進委員になって10年になります

委員になった当時はごみ出しのマナーが悪く、「混合ごみ」を出しても、クリーン推進委員が分別してくれるものと思われていました。「大変ですね」「ご苦労さま」と感謝はされても、分別は私たち推進委員の仕事と誤解されていたのです。

6年前、温存していた計画を実行に移しました

ここは転入が多い町ですし、皆さんの協力がなければごみ問題は解決できない、と思うようになりました。平成8年、私が推進委員のリーダーになってから、それまで温めていた計画を実行に移したのです。

ごみ収集に関する標語とその意味を書いた紙をいくつも作り、毎月標語を替えながら、可燃ごみ置き場に置きました。2年くらい続けましたが、これが一番効果的だったと思います。ほかにも、自分が何班に所属しているのかわからない人が多かったので、班名を書いたアクリル板やご意見箱を可燃ごみ置き場に設置しました。ごみステーション別に、マナーの悪いごみ袋の写真を撮って回覧したり、思いつくことはすべて実行してきました。

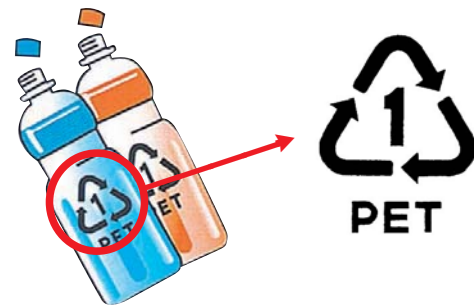
積極的に協力してくれる人が多くて助かります

ごみ収集日には自転車でごみステーションを巡回します。好きでないと、なかなかやれませんね。そろそろ後任を、と思っていますがなかなか見つかりません。

可燃ごみの日になると、「カラスを追っ払ってやるから」と、ごみの見張りをしてくれる人もいます。早く協力してくれる人が多いことが一番うれしいですよ。

ペットボトルの見分け方

- ①「PET 1」のマークがあるか
- ②ボトルの底の中心に「おへそ」のような膨らみがあるか



リサイクル

捨てればごみ、
生かせば資源！

～ごみの分別から、再生品の利用まで～

- 古紙や空き缶、ペットボトルなどの資源物をきちんと分別し、「資源物の日」に出す。
- ペットボトルを出すときは、①キャップを外す ②容器の中を水ですすぐ ③つぶす。
※外したキャップは「燃やせるごみ」へ
- エコマーク、グリーンマークなどの再生品マークのついた商品ができるだけ購入する。

エコ
マーク



グリーン
マーク

ペットボトルを
このように処理しています

西部クリーンセンターにある圧縮機で、容量を1/10まで圧縮します。その後、中間処理工場、リサイクル工場を経て再生商品に生まれ変わります。



▲選別作業

◀圧縮されたペットボトル

みなんで続けましょう3つのR
「ごみ」を減らし（リデュース）、
再利用し（リユース）、さらに再資
源化する（リサイクル）。これは、
ごみを減らすための「3R」と呼
ばれています。
毎日出るごみだからこそ、私
たち一人ひとりの心掛けと行動で、
ごみの量は飛躍的に減少します。
逆に、全市民で取り組まないと、
簡単に実現できるものではありません。
豊かな自然を守るため、また、
限りある資源を次の世代に引き継
ぐためにも、私たちの生活に「3
つのR」を取り入れましょう。

減らす
(リデュース)

賢い買い物で
ごみを作らない！

- 買い物前に、冷蔵庫に何かがあるかチェックする。
- 買い物袋を持参し、お店の袋はもらわない。
- 過剰包装を断る。
- 洗剤やシャンプーなどは、詰め替え用を利用する。



料理方法を工夫してエコ・クッキング！

- 野菜くずも、ひと工夫すれば立派な一品に。
- 生ごみは、生ごみ処理機やコンポストで処理する。



スーパーの安売りなどで買い過ぎた食品を使い切れずに捨ててしまったり、献立が決まらないまま、ついつい不要な物まで買ったりしていませんか？

買い物前の冷蔵庫チェックと、計画的な買い物は、ごみの減量だけでなく、家計の節約にもつながりますよ。

ごみダイエット作戦



再利用する
(リユース)

ごみにしない工夫をする！

～捨てる前に、もう一度考えましょう～

- 捨てる前に、何か利用できないか考える。
- 壊れたら、なるべく修理して使う。
- 食品のトレーは、スーパーなどの店頭回収に持参する。
- 広告紙の裏を、メモ用紙に使う。
- フリーマーケットやリサイクルショップを積極的に利用する。

